市立敦賀病院 広報誌

# きらめき

Vol. 46

INDEX


・新看護部長インタビュー
・新任医師紹介
・きらめき医療人
・中央採血室リニューアル



2021.06
MUNICIPAL TSURUGA HOSPITAL MAGAZINE

［特集］新看護部長インタビュー

# 看護師だからできる地域貢献のカタチ

## 家族の容体が急変しても医療の知識を活用してすぐに対応できるように

―看護師を目指したきっかけを教えてください。

中学生当時、家族が当院に通院していましたが、市外在住だったため容体が急変してもすぐに対処できない環境にありました。そのような生活を送る中で「看護師になって医療の知識を活用してすぐに対処できるようになりたい」と思ったのがこの職業を目指したきっかけです。また、中学校の卒業アルバムにも「将来看護師になる」と書いていたのを覚えています。

## 俯瞰で業務・スタッフを管理し皆が働きやすい環境を作る

―看護部長とはどのような仕事ですか。また現場の看護師長とは、どのように違いますか。

現場（病棟・外来）の師長は、その所属の業務及びスタッフの管理が主な業務となります。それに対し、看護部長は、俯瞰的な目で全所属の業務や人員を管理するのが主な仕事です。例えば、今回の新型コロナワクチン接種のような臨時的業務により、人員が必要となります。当然各所属からスタッフを派遣するとなると師長から「人が足りなくなる」という声が出てきますが、現場から離れた立場で、各部署のバランスを見ながら師長へ調整を実施しています。

また、所属のスタッフが働きやすいように他部署との折衝をしていくことも業務として挙げられます。

## 医療の知識に加えて論理的思考を学ぶことが必要

―看護部長として、これからどんな所に力を入れていきたいですか。

職員の教育と接遇に改めて力を入れていきたいと考えています。

職員の教育に関しては、医師や他職種のスタッフと協力していく上で、看護師という立場から自分の意見を理論的に説明することが重要です。そのためには、医療の知識に加えて、論理的思考の向上が必要であり、その思考法を身に付けることで、スタッフだけでなく患者さんにも分かりやすい説明ができるようになると考えています。

また、このような知識を充実させたとしても、接し方や言葉遣い1つで患者さんとの信頼関係が壊れるのは非常に残念なことです。特に外来の患者さんについては、スタッフの対応1つで当院に来ていただけなくなる危険性もあります。1人でも多くの患者さんに当院を利用していただけるよう患者さんへの接遇を今一度見直し向上させていくことに取組んでいきます。

## 感染対策にかかる意識改革で院内感染は防ぐことができる

―新型コロナウイルス感染症の影響について教えてください。

今回の新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、感染症指定病院として患者さんの受入れをしておりますが、想像以上に現場の負担が大きくなっています。

しかし、今回の感染症対応を通じて得たものもありました。

まずは感染対策にかかるスタッフの意識改革です。本来感染リスクがある場合、予防策をとることが原則です。しかし、研修を実践する機会が少なく、感染リスクに対する意識も現在に比べて低い状況でした。そんな中、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、「いつ自分が感染するか分からない」という意識のもと、研修や実践を通じ正しい理解と感染防止策を徹底するようになりました。

看護部長

# 小堀 和美

こぼり　かずみ

私たちは医療従事者にかかわらず「治療法が確立していない感染症」に対し、必要以上に恐れてしまう傾向があります。しかし、感染症に対する正しい理解や適切な対処により簡単に防ぐことができること、また「いかなる時でも、リスクがあると判断すれば防護策を取る」ことを先般の感染症対策を通じて再意識することができました。

また、現場の職員が急激な変化に対し、臨機応変に判断ができるようになりました。

新型コロナウイルス感染症対応により、各病棟から師長を派遣していたこともあり、病棟や外来スタッフに大きな負担となりました。また、感染病棟では、普段の病棟業務では発生しないような事例でかつ現場にて判断しなければいけないことも多くありました。これらの経験を通じ「どれが最善かを常に考える」という意識がスタッフ1人1人に生まれ、判断力向上に繋がりました。今後も日頃の感染対策を徹底していくこと、院内感染を絶対に起こさないという意識を持ち続けサービスを提供していきます。

## 地域医療の円滑化に寄与する

―最後に地域のみなさんにメッセージをお願いします。

当院では専門分野を学んだ看護師が11名おります。専門分野の技術と知識を深め、卓越した看護を実践するために教育過程を受講し資格取得した看護師です。

当然、これらの看護師は当院の看護業務に大きな貢献をしてくれていますが、それに加えて嶺南の中核病院として、地域の皆さんに知識を還元することも重要な使命であると考えています。「開かれた病院」を目指す立場として、講師派遣を積極的に行っていきたいと考えておりますので、ご希望があれば是非ご連絡いただきますようお願いいたします。

最後に看護の質は目に見えるものではありません。しかし、患者さんに一番近く接している看護師だからこそ、小さなサインにも早く気づいて、安全な療養生活を送るお手伝いができたらと思っています。「患者さんの最良は何か」を常に意識し業務に臨んでいきたいと思います。

# 新任医師
# 初期研修医の紹介

2021年4月、市立敦賀病院に、新任医師13名、初期研修医5名が赴任しました。
それぞれの専門、所属学会や資格について今後の意気込みとともにご紹介します。

NEW DOCTERS

02

内科　医師

## 松田　優治

まつだ　ゆうじ

**専門分野**

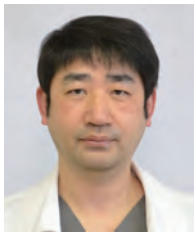
内科・腎臓内科

**所属学会・資格**

・日本内科学会（認定医）
・日本腎臓学会
・日本透析医学会
・日本アフェレシス学会

地元である敦賀で再び勤務することになりました。地域の皆様のお役に立てるよう頑張ります。

01



内科　医長

## 中川　浩実

なかがわ　ひろみ

**専門分野**

内科・内分泌代謝内科

**所属学会・資格**

・日本内科学会　認定内科医

これまで、富山、石川、福井と県をまたぎ、医療に従事してきました。今までの経験を生かし、皆様のお役に立てるよう頑張ります。

04

外科　医長

## 浅井 いづみ

あさい

**専門分野**

消化器外科

**所属学会・資格**

・日本外科学会(外科専門医）
・日本消化器外科学会
・日本消化器内視鏡学会
・日本臨床外科学会
・日本癌治療学会
・日本胃癌学会
・日本外科系連合学会
・日本腹部救急医学会
・日本肝胆膵外科学会

初期臨床研修を当院で行い、この度、外科医師として再び赴任しました。育てていただいた恩返しができるよう、誠心誠意、診療に努めてまいります。

03

消化器内科　医長

## 清水　吉晃

しみず　よしあき

**専門分野**

消化器内科

**所属学会・資格**

・日本内科学会（認定内科医）
・日本消化器病学会（専門医）
・日本消化器内視鏡学会　・日本肝臓学会

これまで、北陸地域を中心に医療に従事してきました。今までの経験を生かし、嶺南の医療に貢献できるよう頑張ります。

07

皮膚科　医師

## 岡村 咲由莉

おかむら　さゆり

**専門分野**

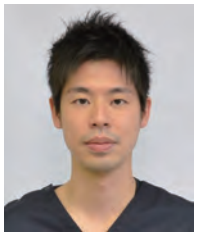
皮膚科

**所属学会・資格**

・公益社団法人日本皮膚科学会
・日本臨床皮膚外科学会
・日本皮膚悪性腫瘍学会

皆様のお役に立てるように精進して参ります。皮膚で何かお困りの事がありましたらいつでもご相談ください。

06



脳神経外科　医師

## 山田 慎太朗

やまだ　しんたろう

**専門分野**

脳神経外科一般

**所属学会・資格**

・日本脳神経外科学会
・日本脳卒中外科学会
・日本脳神経血管内治療学会

初めて嶺南の病院で働かせていただきます。微力ながら皆様のお役に立てるよう頑張ります。

05

整形外科　医師

## 石原　由基

いしはら　ゆうき

**専門分野**

整形外科一般

**所属学会・資格**

・日本整形外科学会

まだまだ若輩の身ですが、少しでもこの地域の医療に貢献できるよう誠心誠意努めてまいります。

10

麻酔科　部長

## 佐藤　倫祥

さとう　ともよし

**専門分野**

麻酔全般

**所属学会・資格**

・日本麻酔科学会（指導医、専門医）
・日本老年麻酔学会（認定医）
・日本臨床麻酔科学会
・日本ペインクリニック学会

地域の皆様に満足される質の高い医療を提供できるよう努力いたします。

09

歯科口腔外科　医師

## 箱田　京介

はこだ　きょうすけ

**専門分野**

一般歯科・歯科口腔外科

**所属学会・資格**

・日本口腔外科学会

歯科治療についてよく学び、患者さんに分かりやすい説明ができるよう心掛けていきます。よろしくお願いします。

08

泌尿器科　部長

## 岡田　昌裕

おかだ　まさひろ

**専門分野**

泌尿器科

**所属学会・資格**

・日本泌尿器科学会（専門医、指導医）

分かりやすい言葉での説明を心掛けて診療しますので、宜しくお願いします。

13

総合診療センター

## 東　敬之

あずま　たかゆき

**専門分野**

総合診療・呼吸器内科

**所属学会・資格**

・日本内科学会

愛知県でこれまで医療に従事して参りました。これからも皆様のために頑張りたいと思います。

12

総合診療センター

## 太田 里奈

おおた　りな

**専門分野**

総合診療、呼吸器内科

**所属学会・資格**

・日本内科学会
・日本呼吸器学会
・日本呼吸器内視鏡学会

皆様のお役に立てるように頑張ります。よろしくお願いいたします。

11

救急科　医師

## 河野 久美子

こうの　くみこ

**専門分野**

救急医療

**所属学会・資格**

・日本救急医学会

これまで福井県内で医療に従事してきました。今までの経験を生かし、敦賀市民の皆様のお役に立てるように努めてまいります。

## 初期研修医

### 坪田　忠大

つぼた　ただひろ

福井生まれの福井育ちの新人研修医です。皆様の不安に少しでも寄り添えるよう、できることを精一杯頑張りたいと思います。

### 酒井　悟臣

さかい　さとおみ

この度は研修医として、敦賀病院に勤務させていただくことになりました。色々なことを学び皆様のお役に立てるように頑張ります。

### 堀内　裕介

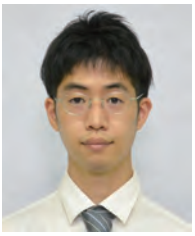
ほりうち　ゆうすけ

研修医として敦賀病院に勤務させていただくことになりました。地域の医療に貢献できるよう頑張ります。

### 谷　圭馬

たに　けいま

医師のスタートである研修医として、ここ敦賀市で医療に携われることを光栄に思います。みなさまのお役に立てるように頑張ります。



### 大野　幸太

おおの　こうた

皆様のお役に立てるよう努力していきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願い致します。

リハビリテーション室
言語聴覚士

# 中澤 久夫

なかざわ　ひさお

## きらめき医療人 *Kirameki Iryojin*

### 「話す」「聴く」「食べる」のスペシャリスト

言語聴覚士とは、脳の病気による言語・認知機能への障害や食事を摂ることが難しい患者さんをサポートする資格を指します。

現在、福井県内の言語聴覚士（ＳＴ）は３００人を越えますが、まだまだマイナーな存在です。

中澤さんがＳＴとして働き始めたとき、県内には6名ほどしかいなかったとのこと。当時、サラリーマンだった中澤さんでしたが、人がやってないことをやろうとＳＴへの転職を決意したそうです。

長年勤めた医療福祉グループでは病院スタッフからデイサービス・老健の責任者を務め、定年退職後は訪問リハも経験しましたが、もう一度急性期病院でのリハビリに従事したいとの思いから、６２歳の非常勤スタッフとして当院に採用となりました。

「他にできることがないので、定年退職後もＳＴをやっています。本来業務に専念できるという理由で非常勤でのスタッフとなりましたが、私の経験が若手の方々の成長に役立てたら嬉しく思います。３０数年経験していても未だにわからないこと、できないことはたくさんあります。また自分の業務が生活の質を保つことに繋がっているのか、迷うこともあります。しかし、ＳＴとして働くからには、患者さんの生活課題を解消できる存在でありたいと思っています。」

「話す」「聴く」「食べる」を支えるスペシャリストとして、今日も患者さんを支えています。

中澤さんは若手言語聴覚士の業務指導だけでなく、当室スタッフへの講習や学会発表指導などにも尽力してくれています。彼の知識・技術・経験がスタッフに還元されることで、リハビリテーションの質が大きく向上すると考えています。

リハビリテーション室
技師長 増井 正清

患者さんにも病院スタッフにもとても優しい言語療法士さんです。経験も豊富なのでこれからたくさん教えてもらって、一人でも多く「口から食べる」患者さんが増えるように一生に頑張っていきたいです。

摂食・嚥下障害認定看護師
下町 智子

# 中央採血室が新しくなりました

待合スペースの拡張により、密を避け快適にお待ちいただけます

## 安心・安全な採血、検査をご提供いたします

2階中央採血室を令和3年3月にリニューアルしましたのでご紹介いたします。従来の中央採血室を囲う壁を取り除き、より広い待合スペースをしました。また、自動受付機を新たに導入し、従来と比較すると受付待ちの混雑が軽減されました。来室される皆様が快適に、そして安心して検査を受けられるよう、今後とも努めてまいります。

改めて、受付から検査までの流れについてご説明いたします。右図をご参照ください。

① 受付：自動受付機に「外来基本受診表」のバーコードを読み込ませます。検査内容に応じて整理券と採尿カップが発行されますので、お受け取り下さい。

② 呼出：整理券には採血の呼び出し番号（1～）と生理検査の呼び出し番号（501～）が印字されます。モニターに呼び出し番号が表示されましたら、採血の方は採血台へ、生理検査の方は心電図室へお越しください。

③ 採血：患者間違い防止のため、お名前と生年月日を確認させていただきます。採血で気分の悪くなったことがある方は遠慮なくお申し出ください。

安心安全な採血、検査をご提供できるよう努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

01 受付

02 呼出

03 採血

きらめき
市立敦賀病院 広報誌 きらめき
第46号 2021年6月発行

市立敦賀病院 〒914−8502 福井県敦賀市三島町1丁目6番60号 TEL0770−22−3611 URL www.tsuruga-hp.jp
お問合わせ 総務企画課 TEL0770−22−3611 E-mail b-soumu@ton21.ne.jp

# 新型コロナウイルス感染症
# ワクチンの有効性と免疫。

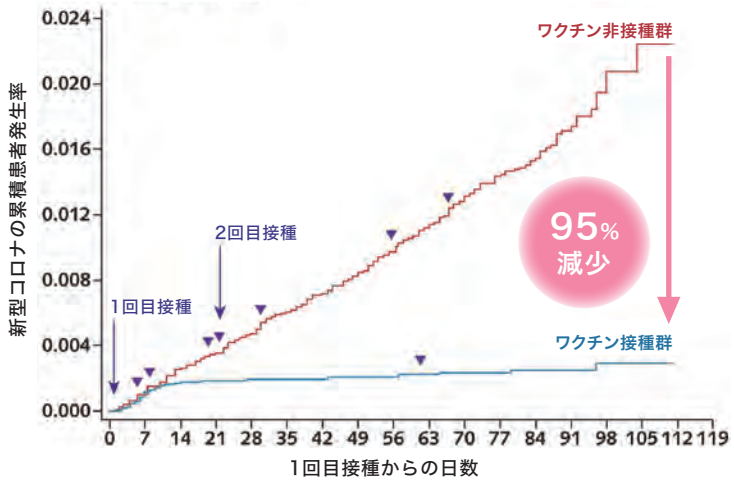
## 新型コロナウイルスワクチン発症予防効果は約95%と報告

新型コロナウイルスワクチンは現在（2021年5月上旬）、複数の種類が開発されていますが国内においてはファイザー／ビオンテック社が開発したメッセンジャーRNAワクチンという新しい技術を用いたワクチンが使用されています。

ワクチンの有効性は発症予防効果が約95%と報告されており、ワクチンを受けた人が受けていない人よりも、新型コロナウイルス感染症を発症した人が少ないということが分かっています。また、2回目の接種から6ヶ月後も高い有効性が確認されたことが報告されています。

なお、このワクチンで十分な免疫ができるのは2回目の接種を受けてから7日程度たって以降とされており、2回の接種が必要です。

現時点では感染予防効果については明らかではないため、引き続きワクチン接種にかかわらず、マスクの着用や手指衛生といった適切な感染防止策を行う必要があります。




引用 Annals of Internal Medicine,"SARS-CoV-2 Vaccines : Much Accompleshed,Much to Learn"

**後記 編集**

新年度が始まり早くも2ヶ月が経過しました。当院では6月1日からは一般の高齢者の方向けの接種を開始しました。全国的にワクチン接種による副反応事例が報道されており、接種を受けられる方の中には不安を感じられている方も多いかと思われます。当院では経過観察中に副反応が生じた方のバックアップ体制も整備しておりますので、安心してご利用ください。

きらめき 市立敦賀病院 広報誌
発行：市立敦賀病院 / 企画・編集：市立敦賀病院広報委員会
©2021 市立敦賀病院
本誌に掲載されている内容の無断転載、
転用及び複製等の行為はご遠慮ください。

市立敦賀病院
公式ホームページ
http://tsuruga-hp.jp